

特集：医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育

医療系教育における e ラーニングの動向

——医療系 e ラーニング全国交流会 (JMeL) から——

真嶋由貴恵*, 中村裕美子**, 丹羽 雅之***, 木下 淳博****,
吉田 素文*****

The Trend of e-Learning in the Education for Health Care Workers

——From Japan Exchange Meeting for Medical e-Learning (JMeL)——

Yukie MAJIMA*, Yumiko NAKAMURA**, Masayuki NIWA***, Atsuhiko KINOSHITA****,
Motofumi YOSHIDA*****

This commentary paper describes the trend of e-learning in the education for health care workers in Japan, as well as the background of each professional education. The authors have been organizing Japan Exchange Meeting for Medical e-Learning (JMeL; since 2007) where the topics in this paper presented.

キーワード：医療系教育, e ラーニング, 全国交流会

1. はじめに

少子高齢化社会において、医療の果たす役割は大きく、国民の多様かつ高度な医療サービスに対するニーズにこたえる人材や、将来の医学・医療を切り拓く先端的研究の進展に寄与する人材が求められている。こうした要請にこたえるため、文部科学省「21世紀医学・医療懇談会」の第1次～第4次報告（平成8年～11年）⁽¹⁾では21世紀に向けた医療人育成についての提言をまとめ、育成に関する考え方を次のように挙げている。

- 1) 医療人としての能力・適性に留意した人材選考
- 2) 人間性豊かな医療人
- 3) 患者中心、患者本位の立場に立った医療人
- 4) 多様な環境の中で育つ医療人
- 5) 生涯学習する医療人

このような医療人を育成するためには、これまでの

知識偏重で詰め込み型の一方的な教育から脱却し、教育の改善を行っていく必要がある。

これまで人間を対象とする医療系の領域において、コンピュータで行う教育はなじまないとされてきた。しかし、近年では、マルチメディアコンピュータやインターネットなどの発展により、映像を活用した医療技術の効果的な習得や時間や場所を問わない学習方法としてeラーニングを取り入れる教育機関が増えてきている。医療系養成機関でeラーニングを導入する目的は、知識伝達式教育から能動的学習への転換、動機づけ、技能学習におけるマルチメディア教材の活用とオンデマンド教育、医療場面の疑似体験（シミュレーション）学習、アップデートされた知識の提供、医療従事者の卒後・生涯教育、チーム医療・地域連携・遠隔教育など、多種多様である。

しかし、eラーニングの導入コストは膨大であり、医療系においても助成金を導入資金にして継続的な運

* 大阪府立大学大学院工学研究科 (Graduate School of Engineering, Osaka Prefecture University)

** 大阪府立大学地域保健学域看護学類 (School of Nursing, Osaka Prefecture University)

*** 岐阜大学 MEDC (MEDC, Gifu University)

**** 東京医科歯科大学図書館情報メディア機構 (Institute for Library and Media Information Technology, Tokyo Medical and Dental University)

***** 九州大学大学院医学研究院 (Faculty of Medical Sciences, Kyushu University)